ニューヨーク補習授業校だより

架け橋

令和７年（2025 年）１月３日　　第 31 号　　校長 小島　昇

新年あけましておめでとうございます。



新しい年、令和７年（2025 年）が始まりました。「福」「幸せ」「笑顔」があふれる一年となりますように。





さて、前回の補習校だよりでもお知らせしていますが、W校幼児部では昨年末、お正月を前にもちつき会を行いました。もちつきは準備から片付けまで大変な労力を必要としますが、W校では、保護者の皆さんの協力を得て、本年度ももちつきをすることができました。

LI校でも４日の授業日にもちつきが計画されています。こちらも保護者会の全面的なご支援により実施することができます。

週に一日だけ授業を実施する補習授業校では、事務局を除く教職員は常勤ではなく、保護者の皆様の協力無くしては充実した教育活動の展開は困難です。一方で、以前よりも在籍者数が減少し、家庭数が少なくなってきている現状を考えると、当番やボランティアとしての保護者負担が増えているという声にも耳を傾けなければなりません。子どもたちのためにやってあげたいことは限りなくあります。そして、その思いは人によって異なります。子どもたちのために何をするか、どこまでやるか、どのようにやるか、答えは簡単には見つからないかもしれませんが、保護者会と一緒に考えていきたいと思います。

まずは教職員も保護者も一人一人が「マイベスト」で！今年もよろしくお願いいたします。

「週刊 NY 生活」第 21 回「言葉の泉」年間大賞

★第一席　LI 校中等部 2 年　川上聖苗さん

★佳作　　W校初等部 4 年　穐田一晴さん



※穐田さんは帰国のため現在は退学しています

昨年末の補習校だより「架け橋」第 30 号で「週刊 NY 生活」硬筆書写コンクール年間優秀賞のお知らせをしましたが、同紙新年特大号にて「言葉の泉」年間大賞の発表もあり、本校から応募した２名の作品の入賞が発表されました。おめでとうございます。